

千葉県小中体連剣道専門部 申し合わせ事項

【日常の指導に関わる事項】

1 礼法・マナーの徹底

(1) 団体試合の礼

① 団体の礼は九歩の間合で整列する。(境界線よりおおよそ2歩の位置) 審判員に対しての礼は行わない。礼法について正しくできない場合はやり直しさせる。

(2) チームの入れ替え

① 先鋒戦の開始は、選手全員が座るのを待たず、監督が座った時点で開始する。

② 次の試合の学校は、前試合が終了後、前試合の選手が整列するのと同時に整列をする。その際に面・小手・竹刀は次の試合の待機場所に置いたままにし、礼が終わったあと、面・小手・竹刀を移動させる。

2 防具の着装の徹底および望ましい服装

(1) 面から手ぬぐいやあご当てなどが外部にはみ出さないようにする。

(2) 小手紐が垂れ下がらないようにする。また、手の内の皮が破れて指が露出してしまふものや手の甲が破れて芯材がはみ出ているものは使用しない。

(3) 面紐・胴紐は紺色または白色とする。

【剣道試合・審判規則に関わる事項】

1 足袋、サポーター、テーピングについて

(1) 使用する場合は、所定の届け出用紙に記入の上、監督はサポーターなどを使用する選手を連れて、審判副主任に届け出をし許可を得る。

(2) テーピングの色は白色またはベージュとする。

2 剣道具について

(1) 不正用具とは、規則第4条に規定する剣道具以外のものをいう。なお、細則第3条第2号から第4号および同第3条の2の基準に合致しない剣道具または剣道着は不正用具としない。この場合、試合終了後に審判主任から注意を与える。

(2) 選手の剣道着・袴は、黒色・紺色または白色とする。

3 竹刀について

(1) 化学繊維竹刀の使用を認める。

(2) 竹刀計量により不合格となった竹刀は、アリーナ内に持ち込まない。

(3) 弦の色は、白・黄・紫とする。

4 つばについて

(1) 革色のもの(白色も可)を使用する。それ以外のものを使用している場合は、その場で、つばあるいは竹刀全部を取り替えさせる。

5 負傷または事故について

◇ 負傷または事故などにより試合が継続できない場合は、次の要領で処置する。

(1) 医師が現場に到着してから治療の可否判断をするまでの時間を5分以内とする。

① 治療可能と判断した場合は、治療にかかわる時間は治療に必要な時間とする。

② 試合続行不可能と判断した場合は、試合不能者は棄権者となる。

- (2) 医師の処置の状況により、審判主任の判断で相手選手の対応をする。監督からの指導は認めない。審判員についても試合者に準ずる。
- (3) 負傷により試合が継続できない場合は、その原因を起こした者を負けとし、その原因が明瞭でない場合は、試合不能者を負けとする。
- (4) 負傷または事故者として処理された者は、状況によりその後の試合に出場することができる。
- (5) 加害者として負けとされた者は、その後の試合に出場することができない。

6 審判員について

- (1) 審判旗は「横巻き」とする。
- (2) すべての宣告ははっきりとした声で明瞭に行う。
- (3) 服装について
 - ① 役員・監督・登録された外部指導者・部活動指導員の服装は審判員に準ずる。
 - ② ネクタイピンを使用する場合は見えないように着用する。
 - ③ ボタンダウンのYシャツは着用不可とする。
- (4) 審判席での姿勢や態度に留意する。次の試合の審判員は、審判旗を両手に持ち、正しい姿勢で着席する。
- (5) 試合場の入退場は、三人揃って右足から移動する。
- (6) 主審は竹刀検量済み、正しい蹲踞の確認後、試合を開始する。(約3秒程度)
- (7) 「始め」の宣告後、構えが成立する前に打突動作に入った場合は、ただちに主審は「止め」を宣告する。もし、打突が当たったとしても有効打突として認めない。その後、指導した上で再度「始め」を宣告する。
- (8) 合議後の反則については、内容を選手に説明後、「反則〇回」と宣告する。事由の通告は行わない。

7 その他

- (1) 代表者戦について
 - ① 任意の選手とは補員を含めた7名の選手から選出
 - ② 監督 → 審判主任(ここで確定)
- (2) 応援は拍手のみとし、監督席や観客席から選手への声援、指示は行わない。
- (3) 試合後の指導は試合場で行わない。退場後に待機場所で行う。
- (4) 反則に対する拍手などはしない。

【試合運営に関わる事項】

- 1 アリーナ内に入場できるのは、役員・審判員・監督・選手・補助役員・登録された外部指導者及び部活動指導員とする。
- 2 男女同一校・同一監督で試合が重なる場合
 - (1) 決勝戦は同時には行わない。
 - (2) 決勝戦以外は、各支部長の責任において、代理を立てることができる。
- 3 アリーナ内へは折り鶴や装飾品などは持ち込まない。
- 4 会場内へは応援旗・激励旗などは持ち込まない。
- 5 試合場付近に時計、ストップウォッチなどは持ち込まない。
- 6 審判割り振り表は大会当日に配付する。